

「野村米国ハイ・イールド債券投信(通貨選択型)」  
米国ハイ・イールド債の2018年の動向と2019年の投資環境について

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
「野村米国ハイ・イールド債券投信(通貨選択型)」(以下、ファンド)の実質的な主要投資対象である米国ハイ・イールド債について、2018年の動向と2019年の投資環境についてご説明致します。

当資料は、ファンドが投資対象とする外国投資信託「ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド」を運用するノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネージメント・インク(以下、NCRAM社)の情報に基づき野村アセットマネジメントが作成しました。

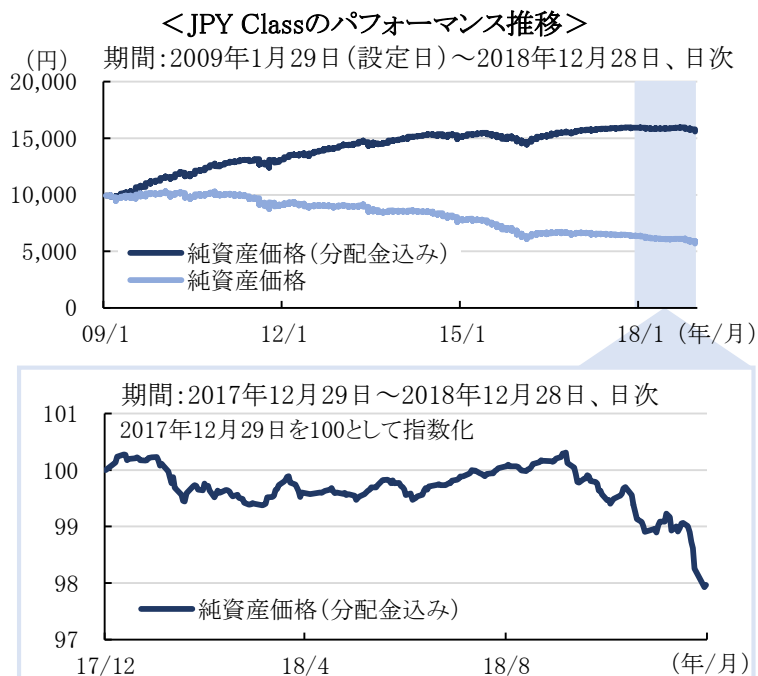
【外国投資信託のパフォーマンス】

ここではファンドが投資対象とする外国投資信託のうち、組入資産を原則として対円で為替ヘッジを行なう、外国投資信託「ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド JPY Class」のパフォーマンスに基づいて説明致します。

2018年前半は米国経済が堅調な中、金利上昇懸念を受けて純資産価格(分配金込み)が下落する局面もありましたが、好調な企業決算や低位なデフォルト率を背景に、9月末にかけて上昇し、2018年9月28日時点での年初来のリターンは+0.2%となりました。しかし、その後は、米中貿易摩擦の懸念の高まりや原油価格の急落を受けて純資産価格(分配金込み)は下落に転じ、2018年12月28日現在、年初来のリターンは-2.0%となりました。

純資産価格(分配金込み)とは、当初設定時より課税前分配金を加算した純資産価格です。また、換金時の費用、税金等は考慮していません。

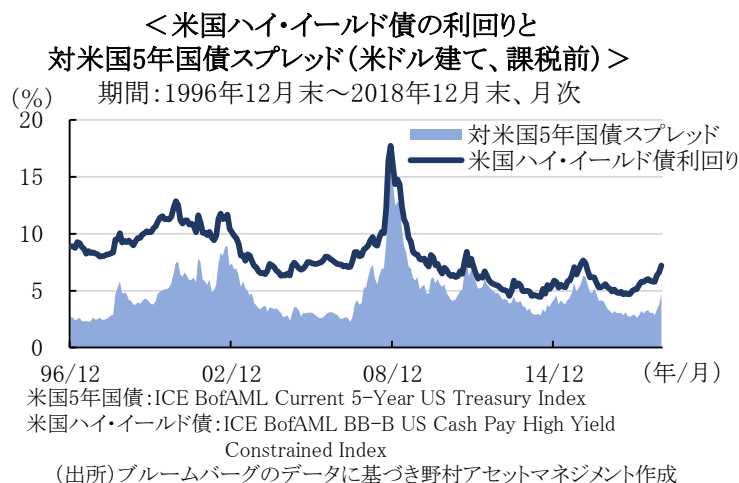
上記は過去の運用実績であり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。



【米国の利上げと米国ハイ・イールド債(BB～B格)の利回りの状況について】

FRB(米連邦準備制度理事会)は、2018年12月18日～19日のFOMC(米連邦公開市場委員会)において、大方の事前予想の通り政策金利の引き上げを実施する一方、2019年の利上げ見通しを3回から2回に引き下げました。FRBは外部環境によっては金融政策の変更も辞さず、利上げを一時停止するなどのハト派的な姿勢を示していることから、金利上昇によって米国が景気後退に陥る可能性は低いと考えています。

なお、2018年12月31日時点の米国ハイ・イールド債(BB～B格)の利回りは7.2%、対米国5年国債スプレッドは4.7%となっており、1年前の2017年12月31日の利回り(5.1%)、スプレッド(2.9%)と比べると、利回りは上昇し、スプレッドは拡大しています。



上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

### 【米国ハイ・イールド債のデフォルト率について】

米国ハイ・イールド債全体のデータで説明致します。

JPモルガン社の調査では、2018年12月末現在での米国ハイ・イールド債のデフォルト率は約1.8%となっています。NCRAM社では、米国景気の減速や原油価格の下落に伴う、CCC格など低格付け企業のデフォルトの増加により、2019年のデフォルト率は若干上昇すると予想しています。一方で、堅調な雇用環境を背景に個人消費が良好に推移していることや、政府による景気刺激策も継続することから、米国経済が景気後退に陥り、デフォルト率が大きく上昇する可能性は低いと予想しています。

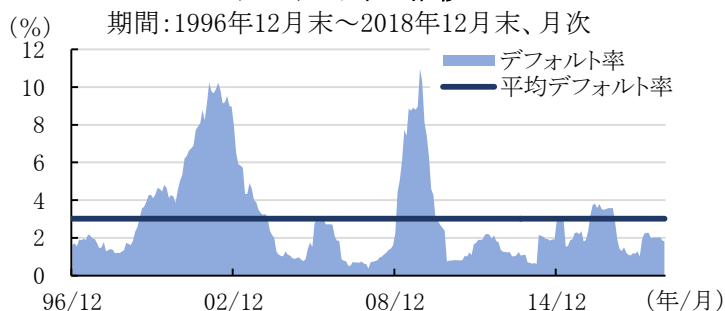
デフォルトとは、債券の利払いおよび元本返済の不履行、もしくは遅延などをいいます。

### 【NCRAM社が考える2019年の米国ハイ・イールド債市場について】

2019年の米国ハイ・イールド債市場は、安定した米国経済の成長を背景に、堅調に推移するものと考えています。米国の財政支出が2019年にかけても引き続き経済成長を促進することに加え、個人消費が良好なことから、NCRAM社は2019年の米国の経済成長が順調に推移すると予想しています。

一方、原油価格の低迷は米国ハイ・イールド債市場にとっての懸念事項です。2018年第4四半期に起こった原油価格の急落は、世界経済の減速に伴う需要の減少懸念と、イラン産原油の禁輸免除に伴う短期的な供給過剰が背景にあると見られます。しかし、2019年に入り、経済成長に対する懸念が弱まっていることを背景に原油価格は反発しました(1月15日現在のWTI=52.1米ドル)。NCRAM社は引き続き、原油の需要が伸びると同時に、OPEC(石油輸出国機構)が2018年12月に減産に合意したことから、原油産出量は低下すると予想しています。OPECが減産を続けられる限り、需要と供給は再び均衡化し、2019年の原油価格は回復基調になると予想しています。

### ＜デフォルト率の推移＞



(出所)JPモルガンのデータに基づき野村アセットマネジメント作成

以上のような環境下で、NCRAM社は2019年の米国ハイ・イールド債市場について、堅調なトータルリターンを予想しています。米国ハイ・イールド債は、米国経済の成長をとらえて上昇する傾向があり、NCRAM社は、足元の投資環境を好機と捉え、クオリティの高い銘柄を割安な水準で購入することで、中長期的に優れたパフォーマンスを残すことに注力していく方針です。

### ＜原油価格の推移＞



原油価格:WTI(West Texas Intermediate)原油先物価格(米ドルベース)  
(出所)ブルームバーグのデータに基づき野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

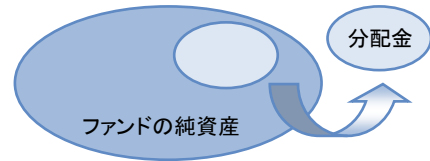
今後とも「野村米国ハイ・イールド債券投信(通貨選択型)」をご愛顧賜りますようお願いいたします。

#### 当資料で使用した指数について

●「ICE BofAML BB-B US Cash Pay High Yield Constrained Index SM/®」、「ICE BofAML Current 5-Year US Treasury Index SM/®」は、ICE Data Indices, LLCまたはその関連会社(「ICEデータ」)の登録商標です。当ファンドは、ICEデータによって支持・推奨・販売・販売促進されるものではなく、また、ICEデータは当ファンドに関して一切の責任を負いません。

【分配金に関する留意点】

●分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。



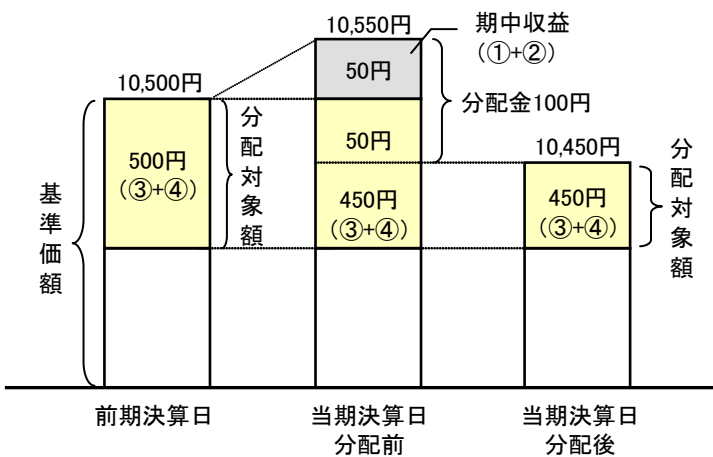
●ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

・計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

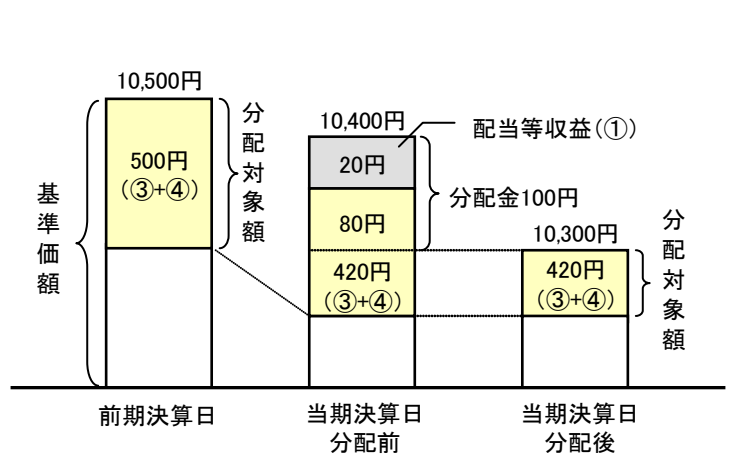
※分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

分配対象額は、①経費控除後の配当等収益②経費控除後の評価益を含む売買益③分配準備積立金④収益調整金です。

前期決算から基準価額が上昇した場合

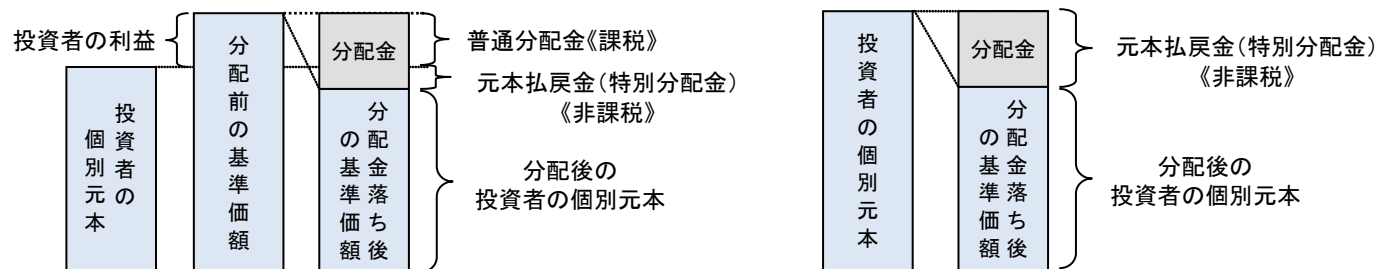


前期決算から基準価額が下落した場合



●投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりりが小さかった場合も同様です。

- ◇普通分配金 … 分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本と同額の場合または投資者の個別元本を上回っている場合には分配金の全額が普通分配金となります。
- ◇元本払戻金 … 分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)となります。



※投資者が元本払戻金(特別分配金)を受け取った場合、分配金発生時にその個別元本から元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の投資者の個別元本となります。

(注)普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

※上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額について示唆、保証するものではありません。

野村米国ハイ・イールド債券投信(通貨選択型)  
毎月分配型/年2回分配型

【ファンドの特色】

- 「野村米国ハイ・イールド債券投信(通貨選択型)」は、19本のファンド(「毎月分配型」と「年2回決算型」を有する、為替取引手法の異なる9つのコース(円コース、米ドルコース、ユーロコース、豪ドルコース、ブラジルレアルコース、南アフリカランドコース、トルコリラコース、通貨セレクトコース、メキシコペソコース)およびマネープールファンド(年2回決算型))から構成されています。
- 各コース(マネープールファンドを除く9つのコースを総称して「各コース」といいます。)
  - ◆高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いません。
  - ◆米ドル建ての高利回り事業債(ハイ・イールド・ボンド)を実質的な主要投資対象\*とします。  
※「実質的な主要投資対象」とは、外国投資信託や「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
  - ◆円建ての外国投資信託「ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド」および国内投資信託「野村マネー マザーファンド」を投資対象とします。

・「ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド」には、為替取引手法の異なる9つのクラスがあります。

コース名	各コースが投資対象とする外国投資信託の為替取引手法
円コース (毎月分配型)／(年2回決算型)	米ドル建て資産を、原則として対円で為替ヘッジを行いません。
米ドルコース (毎月分配型)／(年2回決算型)	米ドル建て資産について、原則として対円で為替ヘッジを行いません。
ユーロコース (毎月分配型)／(年2回決算型)	米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、ユーロを買う為替取引を行いません。
豪ドルコース (毎月分配型)／(年2回決算型)	米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、豪ドルを買う為替取引を行いません。
ブラジルレアルコース (毎月分配型)／(年2回決算型)	米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、ブラジルレアルを買う為替取引を行いません。
南アフリカランドコース (毎月分配型)／(年2回決算型)	米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、南アフリカランドを買う為替取引を行いません。
トルコリラコース (毎月分配型)／(年2回決算型)	米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、トルコリラを買う為替取引を行いません。
通貨セレクトコース (毎月分配型)／(年2回決算型)	米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、選定通貨*(米ドルを除く)を買う為替取引を行いません。
メキシコペソコース (毎月分配型)／(年2回決算型)	米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、メキシコペソを買う為替取引を行いません。

※選定通貨は、投資対象とする外国投資信託の副投資顧問会社が選定した通貨を指します。  
詳細は、交付目論見書の「各コースが投資対象とする外国投資信託の概要」の投資方針をご覧ください。

- ◆通常の状況においては、「ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド」への投資を中心とします\*が、投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定することを基本とします。  
※通常の状況においては、「ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド」への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。
- ◆各コースはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。
- マネープールファンド
  - ◆安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行いません。
  - ◆円建ての短期有価証券を実質的な主要投資対象\*とします。  
※「実質的な主要投資対象」とは、「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
  - ◆「野村マネー マザーファンド」への投資を通じて、残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資により利息等収益の確保を図り、あわせてコール・ローンなどで運用を行なうことで流動性の確保を図ります。
  - ◆ファンドは「野村マネー マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- 「野村米国ハイ・イールド債券投信(通貨選択型)」を構成する「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングができます。

●分配の方針

◆毎月分配型

原則、毎月25日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。  
分配金額は、分配対象額の範囲で委託会社が決定するものとし、原則として利子・配当等収益等を中心に分配を行いません。ただし、基準価額水準等によっては売買益等が中心となる場合があります。また、毎年1月および7月の決算時には、基準価額水準等を勘案し、上記分配相当額のほか、分配対象額の範囲内で委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。  
※コースによっては、投資信託約款上「原則として、利子・配当等収益等を中心に安定分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。また、基準価額の水準、運用の状況等によっては安定分配とならない場合があることにご留意下さい。

◆年2回決算型

・各コース

原則、毎年1月および7月の25日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。  
分配金額は、分配対象額の範囲で、原則として利子・配当等収益等および基準価額水準等を勘案して委託会社が決定するものとします。

・マネープールファンド

原則、毎年1月および7月の25日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。  
分配金額は、原則として基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。

\*委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。



野村米国ハイ・イールド債券投信(通貨選択型)  
毎月分配型/年2回分配型

【投資リスク】

各ファンド(「マネープールファンド(年2回決算型)」を除く)は、投資信託証券への投資を通じて、債券等に実質的に投資する効果を有しますので、金利変動等による当該債券の価格下落や、当該債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

「マネープールファンド(年2回決算型)」は、債券等を実質的な投資対象としますので、金利変動等による組入債券の価格下落や、組入債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 2024年1月25日まで  
※「マネープールファンド」は2019年7月25日まで
- 決算日および収益分配
- ご購入価額
- ご購入単位
- ご換金価額
- スイッチング
- お申込不可日
- 課税関係

【当ファンドに係る費用】

(2019年1月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.24%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 なお、「マネープールファンド」へのスイッチングの場合は無手数料 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	【各コース】 ファンドの純資産総額に年0.9504%(税抜年0.88%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 ○実質的にご負担いただく信託報酬率 ・各コース(通貨セレクトコースを除く):年1.6504%程度(税込) ・「通貨セレクトコース」:年1.8004%程度(注)(税込) (注)純資産総額によっては、記載の信託報酬率を下回る場合があります。 *ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。 【マネープールファンド】 ファンドの純資産総額に年0.594%(税抜年0.55%)以内(2018年10月19日現在年0.001188%(税抜年0.0011%))の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入資産等の売買の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時、スイッチングを含む)	【各コース】 1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額 【マネープールファンド】 ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に  
応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

◆設定・運用は

野村アセットマネジメント

商号:野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
加入協会:一般社団法人投資信託協会/  
一般社団法人日本投資顧問業協会/  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先:野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ 0120-753104

<受付時間>営業日の午前9時~午後5時

★インターネットホームページ★

<http://www.nomura-am.co.jp/>

★携帯サイト★

<http://www.nomura-am.co.jp/mobile/>

**【当資料について】**

- 当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

**【お申込みに際してのご留意事項】**

- ファンドは、元金が保証されているものではありません。
- ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- 投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
- 投資信託は預金保険の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。
- お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

# 野村米国ハイ・イールド債券投信(通貨選択型)

## お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
ごうぎん証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第43号	○			
とうほう証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第36号	○			
野村証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。  
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。